



角みのる

都政レポート

2021年5月号

2021年5月発行

100年に1度の危機に打ち勝ち、コロナ後の東京を構想する!!

● 両角 穰 (もろすみ のる)

- 政策研究大学院大学博士課程修了（博士・政策研究）、埼玉大学大学院政策科学研究科修了（修士・公共政策）
明治大学政経学部政治学科卒。
- 八王子の織物業の家に生まれ八王子に育つ。市立2小、4中、都立府中西高校卒。
- 八王子市及び横浜市職員（企画担当係長等）として13年にわたり行政の第一線で活躍。
- 八王子市議会議員連続4期（副議長、監査委員、議会基本条例等検討会座長等）を経て、2012年の八王子市長選に挑戦するも惜敗。
- 2013年から都議会議員（連続2期）。この間、都議会環境・建設委員長、経済・港湾委員長、予算特別委員長、会派幹事長などを歴任。
- 現在、都議会文教委員会委員、オリンピック・パラリンピック推進対策特別委員会理事、公益財団法人東京都歴史文化財団評議員。
- 都民ファーストの会創設メンバー
現在は都民ファーストの会総務会長代理。





東京からカエル!!



▲HPをご覧ください

新緑がまぶしい季節となりましたが、今回は喫緊の課題である新型コロナウイルス対策についてワクチンを中心にお伝えします。

■ コロナから都民の命と生活を守る

昨年1月に国内初の新型コロナウイルスの感染者が確認されてから、1年半近くになろうとしています。パンデミックは私たちの生活を大きく変えました。一方で、累次の「緊急事態宣言」等、人流抑制の規制措置がとられてきましたが、一時は感染拡大が抑えられるものの、規制の解除とともに感染が再拡大するプロセスが繰り返されてきました。そして、変異種は更なる感染拡大と医療の逼迫をもたらしています。厳しい状況が続く今こそ、都民の命と生活を守ることを最優先に政治活動に取り組んで参ります。

■ ワクチン接種が進んだ国では新規感染者数の抑え込みが顕著に

世界では既に4億人以上がワクチン接種を行っています。ワクチン接種が進んでいるのは、イスラエル（61.81%）、イギリス（48.39%）、チリ（40.46%）アメリカ（39.24%）などです（少なくとも1回接種している人が人口に占める割合、4/20現在 NHK新型コロナウイルス特設サイト）が、これらの国では新規感染者数が大幅に減少すると

ともに社会の空気に変化が生じ、経済再開に向けた動きが顕著になってきています。一般的に人口の7割以上が免疫を得ることで集団免疫が獲得されると言われています。しかし、我が国はワクチン接種の遅れから、接種率はOECD加盟37か国中、最下位（0.96%、4/20現在 同サイト）です。

■ ワクチン供給確保見通しが示されるも、接種スケジュールは不透明

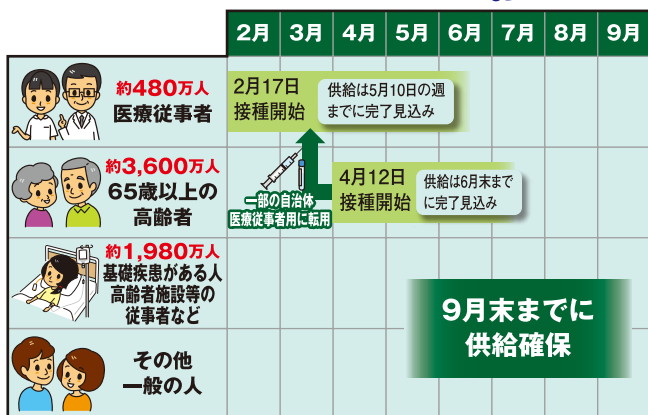
ワクチン接種の概要は、2022年2月末までを接種期間とし、この間の接種は無料とする。

接種は義務ではなく希望制とし、接種対象は16歳以上。接種の優先順位は①医療従事者等（約480万人）、②65歳以上の方（約3,600万人）、③基礎疾患（糖尿病等）を有する方、高齢者施設の従事者等（約1980万人）、④その他一般の方の順で接種を進めるなどです。

既に、2/17には医療従事者向けに、4/12からは65歳以上の方に向けた接種が始まりました。しかし、2回目を接種済みの医療従事者は全体の15%程（NHK「NEWS WEB」4/18）であり、八王子市での1回目の高齢者向けワクチン接種予約はあっとい

う間に枠が埋まるなど、接種計画通りにいくかは不透明な状況です。

ワクチン接種・供給スケジュール (4/20現在)



こうした状況からも現時点での課題はワクチン確保を確実にすることです。9月末までに、十分なワクチン供給が可能とされていますが、ワクチン自国優先主義の動きのなかで総量確保には不透明感がつきまといま

具体的には、我が国では、ファイザー（承認済み・米）、モデルナ（承認予定・米）、アストラゼネカ（承認予定・英）の3社とワクチン確保の契約を結んでいます。その契約内容がつまびらかにされていない点。そして、現在、日本向けファイザー・ワクチンはEU内の工場からの輸入に頼っていますが、EUが当面（6/末まで）一便ごとの個別承認制を取っており、EUの事情にワクチン供給が依存する点、ファイザー追加分も今後の米国国内事情に左右される点が不安材料です。



▲ワクチン（イメージ）

国産ワクチンの研究開発の促進を

現在、中国やロシアは途上国を中心にワクチン外交を展開しています。また、アメリカやEUも自国でのワクチン確保を優先しています。このような国際的なワクチン争奪戦のなかで、国内向けのワクチンをしっかり確保することが重要です。同時に、今後起こりうる感染症の世界的流行の可能性を考えれば、国産ワクチンの研究開発を進め、国内での生産体制を早期に整

えることが、都民・国民の命を守ることにつながると考えます。こうしたことから、私たち都民ファーストの会では先の都議会本会議において、国産ワクチンの研究開発の促進を都からも国に求めるよう要望致しました。

都民・国民への情報提供と相談体制の確立を

ワクチンは新型コロナウイルス感染症終息に向けた大きな力となりますが、ワクチン接種に不安を感じる方や副反応の心配があるのも事実です。そこで、私たち都民ファーストの会では、都民に対する情報提供の徹底と相談体制の確立を求めてきました。その結果、都HPでの情報提供が充実されるとともに、医師等の専門職が24時間対応する「**東京都新型コロナウイルスワクチン副反応相談センター**」が設置されました（多言語対応、03-6258-5802）。

安心できる接種体制の確立を

現行法上、ワクチン接種を担当できるのは医師・看護師に限られています。今後、十分なワクチンが供給されるような段階では、医師・看護師や会場確保といったことが課題となります。そこで、両角は、担当部局との意見交換において、接種が本格化した段階における医師等の確保など接種体制への都の市町村に対する支援を要望致しました。

コロナから自ら身を守ろう

ワクチン接種が十分に広がるまでの間、新型コロナ感染症から自らと家族・友人を守るのは私たち自身の行動にかかっています。どうか、手洗い・うがい、マスク、ソーシャルディスタンス、さらに正しい食生活や運動といったことに努め、感染症から身を守っていただきたいと思います。



▲毎朝、市内の各駅で政策を訴える

★都議選日程が確定★

6月25日(金) 告示
7月4日(日) 投開票

東京都選挙管理委員会は任期満了に伴う都議選の日程を決定しました。

東京都議会議員 **両角 みのる** 事務所
〒192-0051 八王子市元本郷町1-18-2 木下ビル2階
電話：042-620-8155 FAX：042-620-8177
e-mail：hachioji.m@gmail.com

**来たれ!!インターン生、
ボランティア(ポスティング等)
随時募集中!!**